

# 稲村ヶ岳ラウンドトレック 平成21年8月3日(月)

メンバー: I. O. K. O(記) 天候:晴れ時々曇り (癒しの溪が楽しめます)  
コースタイム:白倉谷林道 7:15→岩本谷→水晶谷出会(8:50→9:00)→大日山キレット(10:50-11:00)  
→稲村ヶ岳(11:20-11:30)→大日山(12:00-12:05)→クロモジ尾分岐点 12:25→  
伐採地→尾根からの分岐点(13:30-13:40)→駐車地 14:45

概要:今回は、またしても梅雨明けがずれ込み、赤木沢は中止した。月曜日になってようやく梅雨が明けそうであったので、休暇を利用して、奈良百遊山の一つである、稲村ヶ岳に日帰り登山をすることにした。しかし、ただ登るだけでは面白くないので、岩本谷から水晶谷を経て登頂し、帰りはクロモジ尾を使うことにした。このようにコース取りをすると、出発地点まで戻るラウンドトリップができる。

ネットで調べると、岩本谷から大日山キレットへ出るコースは下降路としてもよく使われているポピュラーな谷のようである。下山予定のクロモジ尾根もかなり一般化しているようである。

今回は前日までの雨で水量が多いことを期待して、沢スタイルで臨み、水線通しに登ったが、殆どの滝を直登できて面白かった。用意したロープは結局使わなくても済んだ。大滝はなく、小滝やナメは簡単に越えて行ける。途中、1カ所、ミニゴルジュに出会うが、腰までの入水で直登できた。標高 1150m 付近で水晶谷出会の二股になるが、右俣が水晶谷であることを示すプレートが掛けてあった。この先も階段状の2~4mの滝が続くがすべて快適に登れた。

標高 1300m 辺りで谷は左右に別れるが、どちらの沢にも入らず、真ん中の尾根状斜面を直登した。獣道が時々現れ、足場も柔らかいので歩きやすかった。他の記録では、右股を詰めて途中から左方向にコース取りしたものや、左股を詰めて途中から右方向に尾根に取り付いたり、右股を詰めすぎて、稲村ヶ岳の基部に詰め上がってしまったりした記録があったので、それなら初めから、真ん中の尾根を進めばよいと判断した。上部に近づくと、右手上方に樹木の間から大日山が見えたので、これより右手に少しトラバースすると、水がわずかに流れる谷筋に出た。これがキレットからの沢筋であるとすぐにわかった。喉を潤し、沢を詰めると正面にキレットがはっきり見えてきた。途中、二箇所のチョックストーンを越え、正面に大日山の岩壁を見て、稜線の登山道に出た。

登山道に出ると、大日山を下山してくる修行者の一行に出会った。3名の僧に連れられた白装束の女性数名の団であった。しばらく休憩した後、登山道を稲村ヶ岳頂上まで登り、展望台で大パノラマの展望を楽しんだ。少しガスが掛かっているのが残念である。これで奈良百遊山も九十一山となった。

帰りは、キレットに戻り、大日山を往復、クロモジ尾の分岐を目指した。分岐は目印と立ち入りを制限するロープが張ってあるので分かり易かった。目印が多いので迷うことなく、伐採地まで下る。伐採地は見るも無惨な風景をさらしていた。ここで、尾根が分岐する。伐採跡を右手に見ながら下ると、シカよけネットが現れ、なおも下ると、いくつものテープで分かり易く表示された分岐点に出た。

さて、ここから、テープに従って下ったが、真新しい伐採に出会い、難渋することとなった。この伐採により、テープの巻かれた木々もすべてが倒されていた。切り口が真新しいので、伐採はごく最近行われたと思われる。しばらくテープを探しながら下ったが、途中で面倒になり、伐採を避けて、取りあえず下りやすい獣道を利用して、沢筋めがけて下ることにした。途中、ワイヤーや壊れたシカよけネットなどを見つけながら、急下降すると、朝入溪した、橋近くの河原に出た。

なお、橋のすぐ先に、クロモジ尾の入り口を示すプレートがあり、真新しい木の階段が設置されていたが、これは山師が伐採のために整備したものであろうと思う。登山者にとって、テープの目印は大変ありがたいが、今回のコースのように、あまりに多い目印は、地元の関係者からは、どのような目で見られているのであろうか。ネットで登山記録が簡単に検索できるので、これからも入渓者や、クロモジ尾の登山者が増えると思うが、やたらとテープを巻くことは止めた方がよいと思う。ルートファインディングや道無き道のブッシュ漕ぎを楽しむのも登山のうちであると思うのであるが、40年近く山を登ってきたが、登山の大衆化と中高年登山のあり方について、環境と遭難対策の面から、それぞれが、責任をもって考える時期に来ているのではと思う次第である。ネットでの意見交流を通して、多くの方が納得できるコンセンサスがつくられることを願っている。



岩本谷に架かる橋



クロモジ尾入口の標識



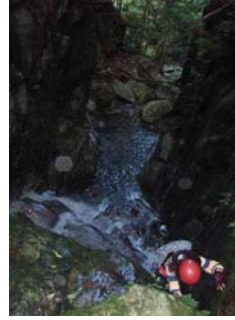
入り口の木製階段



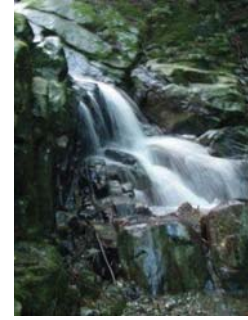
岩本谷はうっそうとしている



途中の美しい斜瀑



ミニゴルジュ



このような滝が多数あり



水晶谷入り口の標識



最後の詰め



イワタバコ



チョックストーン



あと少し



大日山



大日山の岸壁



キレットを望む



縦走路から見たキレット



キレットに立つ標識





修行者たち



修行者の一行



大日山頂上



稲村ヶ岳頂上



クロモジ尾根入り口



伐採跡



大日山を振り返る



分岐の標識

添付のマップはあくまで参考にして下さい。ルートファインディングは各自で責任を持って行って下さい。不明な点は、オールマウンテンのホームページからお問い合わせ下さい。